

CAN Series

NIIGATA UNIVERSITY
CAN シリーズ活用マニュアル



CANseries®

❖ CAN シリーズ

学生が「自分らしいキャリア」を描くため、キャリア意識形成支援ツールとして『CAN シリーズ』を展開。それが新潟大学の『CAN シリーズ』。



新潟大学オリジナル！ 充実のCANシリーズ

<https://www.career-center.niigata-u.ac.jp/canseries/>



CANシリーズロゴデザインについて



今回CANシリーズを位置付けるにあたり、より学生みなさんに親しみやすく、かつ強く認識していたいためロゴデザインを学生みなさんから募りました。結果、農学部 藤井雅美さんと工学部 富岡静佳さんの2つのデザインを掛け合わせ今回のロゴに決定しました。大学生活の中でのステップを着実に登っていく躍動感と「できる」という自信に満ちあふれた未来の姿がこのデザインに込められています。このロゴデザインは商標登録しています。【登録商標第5339639号】（登録日：2010年7月23日）

目 次

◆ CANチェック（学生向け活用マニュアル）	
1. CANチェック（社会人基礎力診断）の目的	2
2. 人生100年時代の社会人基礎力	2
2-1. 「人生100年時代の社会人基礎力」について	2
2-2. 「人生100年時代の社会人基礎力」の見直しのイメージ	3
2-3. 「個人の成長」と「企業の成長」について	3
3. CANチェック（社会人基礎力診断）の活用の流れ	4
4. CANチェック（社会人基礎力診断）の操作方法とポイント	5
4-1. 診断編	5
4-2. 診断結果活用編	7
4-3. 履歴編	10
4-4. 目標設定	12
5. CANチェック（社会人基礎力診断）のQ&A	14
●実施環境は、パソコン上で Microsoft Edge をおすすめします。 CANチェック（社会人基礎力診断） 学生向け活用マニュアル 制作協力：(株)アイセキュリティ http://aisecurity.info/	
◆ CANシステム	15
◆ CANカード	18
◆ SAKU	19

CANチェック



CAN チェック

(社会人基礎力診断)



学生向け活用マニュアル

【2020 年 4 月版】

自分の強み、弱みを知り、大学生活の充実や将来の自分のために
自分の強み、弱みを知り、大学生活の充実や将来の自分のために
これから身につけたい社会人基礎力を考えよう

新潟大学教育プログラム支援センター



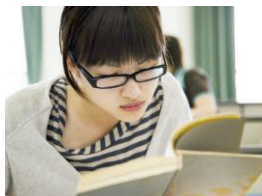
1 CAN チェック（社会人基礎力診断）の目的

診断の目的は、自分の強み、弱みを知り、大学生活の充実や将来の自分のためにこれから身につけたい社会人基礎力を考えていくことになります。

「○○になるために□□の力を伸ばしたい」という明確な目標があれば、大学のさまざまな活動を通して、力を高めるチャンスが広がります。

自ら目標設定し、行動し、成果を出していきましょう。

一人で考えつらいときは、アドバイザーや担当の先生、あるいは教育プログラム支援センターがサポートしていますので、相談してみましょう。



2 人生 100 年時代の社会人基礎力

2-1 「人生 100 年時代の社会人基礎力」について

企業や若者を取り巻く環境変化により、「基礎学力」「専門知識」に加え、それらをうまく活用していくための「社会人基礎力」を意識的に育成していくことが今まで以上に重要となってきています。

「人生 100 年時代」や「第四次産業革命」の下で、2006 年に発表した「社会人基礎力（＝3 の能力／12 の能力要素）」はむしろその重要性を増しています。一方で、「人生 100 年時代」ならではの切り口、視点が必要となってきています。

考え抜く力（シンキング） 課題発見力 考え抜く力、問題発見能力、システムとして物事を考える力、ソーシャルとビジネスを融合する力、見えないものが見える力 計画力 高い倫理観を持ち正しい選択をする力、読める力、金融的投資能力、未来を予想する力 創造力 抽象思考力、価値判断力 チームで働く力（チームワーク） 発信力 協働力、ネットワーキング行動、多様な人たちの繋がりが、パートナー力、相手との壁を越えて多様性を活かす力 傾聴力 （※） 高い倫理観、人間関係資本、関係構築能力、異文化集団に飛び込み（混沌、未知、異文化を受け入れ）信頼を勝ち得る（周囲を巻き込む）力 柔軟性 変化に前向きに対処する力 状況把握力 感情を学ぶ、EQ (Emotional Intelligence Quotient)、情緒的資本 規律性 シーズンシップ、高い倫理観を持ち正しい選択をする力 ストイコリズム Work As Life	前に踏み出す力（アクション） 主体性 変化に前向きに対処する力、範囲を限定せずに主体的に動く力 働きかけ力 （※） 協働力、ネットワーキング行動、多様な人たちの繋がりが、パートナー力、相手との壁を越えて多様性を活かす力、人間関係資本、関係構築能力、異文化集団に飛び込み（混沌、未知、異文化を受け入れ）信頼を勝ち得る（周囲を巻き込む）力 実行力 読める力、やり切る力、組織に課題を託す高い志を持ちピンで立てる力、チャレンジする力 新たな 3 つの視点 何を学ぶか 学び続ける力、「OS」と「アプリ」、マインドセットとキャリアオーナーシップ どのように学ぶか リフレクションと体験・実践、多様な能力を組み合わせる どう活躍するか 自己実現や社会貢献に向けて、企業内外で主体的にキャリアを切りひらいていく
--	---

The diagram illustrates the '3つの視点' (3 Perspectives) for the 21st-century skills framework. It is centered around a red box labeled '3つの視点' (3 Perspectives). Five surrounding colored boxes represent different skill areas, all connected by a green circular line:

- 前に踏み出す力** (Ability to move forward): 主体性、働きかけ力、実行力 (Initiative, ability to engage others, and execution).
- どう活躍するか【目的】** (How to thrive [Purpose]): 自己実現や社会貢献に向けて行動する (Acting towards self-actualization or social contribution).
- 考え抜く力** (Ability to think deeply): 課題発見力、計画力、想像力 (Problem discovery, planning, and imagination).
- 何を学ぶか【学び】** (What to learn [Learning]): 学び続けることを学ぶ (Learning to continue learning).
- どのように学ぶか【組合せ】** (How to learn [Combination]): 多様な体験・経験や能力を組み合わせる (Combining diverse experiences and abilities).

At the bottom, a blue box labeled **チームで働く力** (Ability to work in a team) is shown, with the sub-points: 発信力、傾聴力、柔軟性、情況把握力、規律性、ストレス管理能力 (Communication, listening, flexibility, situational awareness, discipline, and stress management).

「キャリアオーナーシップ」を持つ個人は、主体性を向上させ、自らの「持ち札」を増やすことでキャリアを切りひらいていきます。一方で、企業や組織は、効果的な人材確保を通じて多様な人材が活躍する場を提供するプラットフォームとなることではじめて成長し続けることが可能になります。

個人

- キャリアの棚卸し、リフレクション
- 継続的な学び
- 体験総量を増やす
- 没頭・越境体験
- リカレント教育
- 人的ネットワークの構築

**成長ベクトルのすり合わせ
による生産性の向上**

主体性・モチベーションの向上

どう活躍するか【目的】

どのように学ぶか【組合せ】

何を学ぶか【学び】

3つの視点

エンゲージメントの向上

**キャリアオーナーシップ
／キャリア権の確立**

企業・組織

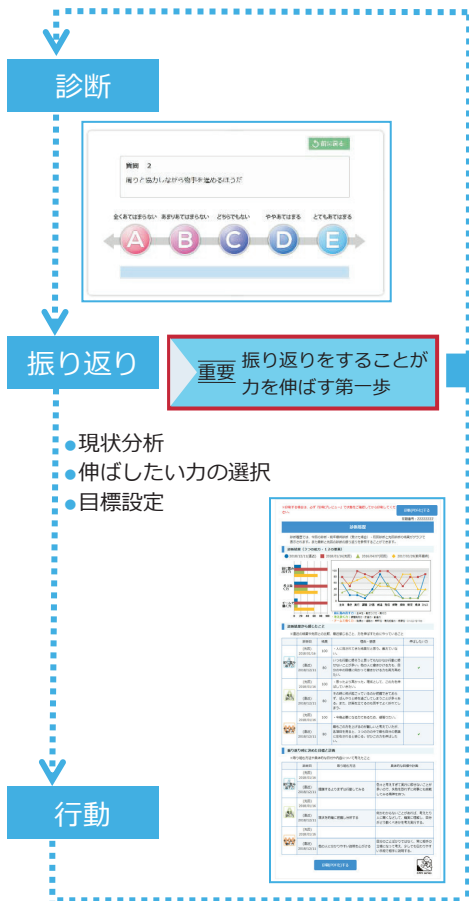
- 適所適材の人事配置・評価報酬システム
- 個人のキャリア自律への強力な支援・理解
- 柔軟な人事制度、人材活用方針
- オープンイノベーションのための社内外の活躍の場の提供
- 自社魅力の見える化
- タスク分解などの経営・業務改革

**優秀な人材の確保
競争力の向上**

3

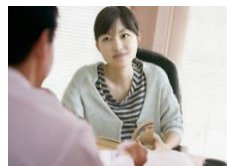
3 CAN チェック（社会人基礎力診断）の活用の流れ

社会人基礎力診断後、伸ばしたい力を考え、目標設定し、その目標にそって行動していきましょう。次回の診断を行ったときに、力が伸びているか分析し、新たな目標を設定します。その繰り返しを自ら行っていくことで、社会人基礎力を伸ばしていきます。



相談

- どの力を伸ばしたらいいかわからない
- 目標設定ができない
- 思うように力が伸びないと思ったら相談してみよう



- ・アドバイザー教員
- ・担当教員
- ・教育プログラム支援センター



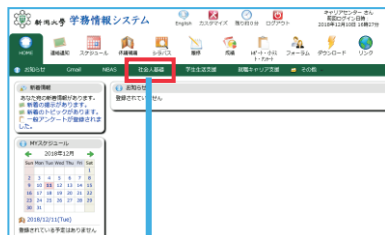
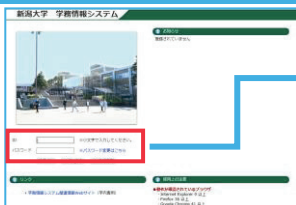
この流れを繰り返して社会人基礎力を伸ばしていこう

4 CAN チェック（社会人基礎力診断）の操作方法とポイント

4-1 診断編

診断開始から診断までの操作を説明します。

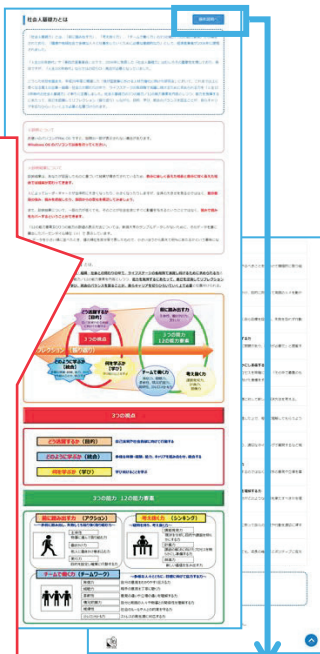
新潟大学 学務情報システム



① CAN チェックトップページ



② 社会人基礎力についての説明ページ



※診断結果について

診断結果は、あなたが回答したものに基づいて結果が導きだされているため、**自分に厳しく答えた場合と自分に甘く答えた場合では結果が変わってきます。**

人によってレーダーチャートが全体的に大きくなったり、小さくなったりしますが、全体の大きさを見るのではなく、**自分自身の強み、弱みを把握したり、前回からの変化を確認してみましょう。**

また、診断結果について、一部の力が低くても、そのことが社会生活にすぐに影響を与えるということではなく、**強みを弱みをカバーすることが出来ます。**

「12 の能力要素及び 3 つの能力」の数値の表示方法については、新潟大学のサンプルデータしかないために、そのデータを基に算出したパーセンタイル順位で表示しています。

※診断結果及び振り返りの記載内容について

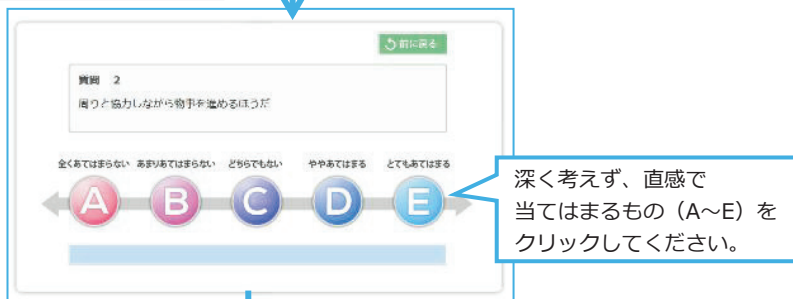
個人名が特定されないように配慮するとともに、教育研究及びその改善に資する目的以外には使用いたしません。

次のページ③へ続く

③操作説明ページ



④質問画面



⑤最後の問題が終了すると
診断中の画面が開きます。

次のページ⑥へ続く

しばらくすると⑥が開きます。

4-2 診断結果活用編

4-2-1. 診断結果ページ (6)

ここで結果表示が切り替わります。



「Score」

社会人基礎力の診断結果として12の要素と3つの能力の結果値を表とレーダーチャートで表示します。

全体の大きさを見るのではなく、自分自身の強み、弱みを把握しましょう。



「Point」

社会人基礎力の診断結果として特に強い点、弱い点やストレスコントロール力について文章で解説します。自分の強み、弱みの特徴や傾向がより理解しやすくなります。



「Advice」

社会人基礎力の診断結果として12の各要素についてアドバイスを表示します。今後の目標を立てるヒントとして活用できます。

4-2-2.「業種別[求める基礎力]」「職種別[求める基礎力]」データ参照ページ(7)

⑥の

業種別 [求める基礎力]

職種別 [求める基礎力]

ボタンを押すと表示されます。



「業種別診断比較」

6 業種の求める基礎力を表示します。

- 運輸・通信業
- 卸売・小売業
- 金融・保険業
- 建設業
- サービス業
- 製造業

出典：社会人基礎力に関する緊急調査

(H18/4) 経済産業政策局 産業人材政策室

[https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286890/www.meti.go.jp/press/2006041)[286890/www.meti.go.jp/press/2006041](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286890/www.meti.go.jp/press/2006041)[8005/shakaijin,kisoryoku-chousa-set..pdf](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286890/www.meti.go.jp/press/2006041)

「職種別診断比較」

9 職種の求める基礎力を表示します。

- 事務・管理系
- 企画系
- 営業系
- 技術系・研究系
- 販売・サービス系
- 専門系
- 金融系
- クリエイティブ系
- IT系

出典：企業の「求める人材像」調査 2007

(H19/3) 経済産業政策局 産業人材政策室

[https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/281883/www.meti.go.jp/policy/kisoryok)[281883/www.meti.go.jp/policy/kisoryok](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/281883/www.meti.go.jp/policy/kisoryok)[u/cyosa2007.pdf](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/281883/www.meti.go.jp/policy/kisoryok)

4-2-3. 振り返りページ (8)

⑥の **振り返り** ボタンを押すと表示されます。

※記入した内容を基に下の「保存」ボタンをクリックして保存してください。印刷は行ってください。

保存する 印刷(PDF)する

診断日: 2020/04/15 (過去の診断の振り返りを見ることができます)

診断番号: AAAAAAA

2020/04/15 振り返り

診断結果を確認です。診断結果を参考に、自分の強み・弱みを見つけましょう。次に目標設定方法と比較して力を伸ばす計画を立てましょう。(診断結果は、あくまでも自己評価の結果です)

診断結果 (3つの能力・12の要素)

能力・要素別スコア

能力・要素	スコア
自己理解	80
自己管理	70
自己表現	60

※能力・要素別スコア: 自己理解・自己管理・自己表現

※能力・要素別スコア: 自己理解・自己管理・自己表現

※能力・要素別スコア: 自己理解・自己管理・自己表現

診断結果から強み・弱みを見つけてみよう

※今回の結果から強み・弱みを見つけてみよう。力を伸ばすためにやるべきことを書いてみよう

結果	強み・弱み	伸ばしたい力
80	いつも行動に移すスピードが速い。行動に移すスピードが速い。行動に移すスピードが速い。	✓
70	その場に居残っている。行動に移すスピードが速い。行動に移すスピードが速い。	○
60	自分の力を伸ばすために行動に移すスピードが速い。行動に移すスピードが速い。	✓

これからの目標を決めて計画を立てよう!

※「振り返り」から、自分の強み・弱み、そして目標についてこれから振り返りや計画を立ててみよう。その振り返りや計画は、具体的な目標や計画と合わせて取り組む計画を立てよう。

※「振り返り」から、自分の強み・弱み、そして目標についてこれから振り返りや計画を立てよう。

保存する 印刷(PDF)する

CAN series

【提出用ページ】

学内教育用 PC では、印刷不可のため「印刷 (PDF 化) する」ボタンをクリックします。プリンターとして、「Microsoft Print to PDF」を選択し、PDF 化して USB に保存し、コピー機で印刷してください。なお、学内教育用 PC 以外の個人用 PC 等では、PDF 作成・編集ソフトのインストールが必要な場合やプリンターが、「Adobe PDF」等の場合があります。

以前の診断結果を見ることができます。

振り返りが大切!

今の自分の力を知って、これから身につけたい力を考えよう。

それが力を伸ばす第一歩!

結果を振り返って現状を把握しよう。力が伸びている場合は、何がよかったのかを考えてみよう。

最新診断から **1 年以内** の場合
最新の「振り返りページ」で変更することができます。

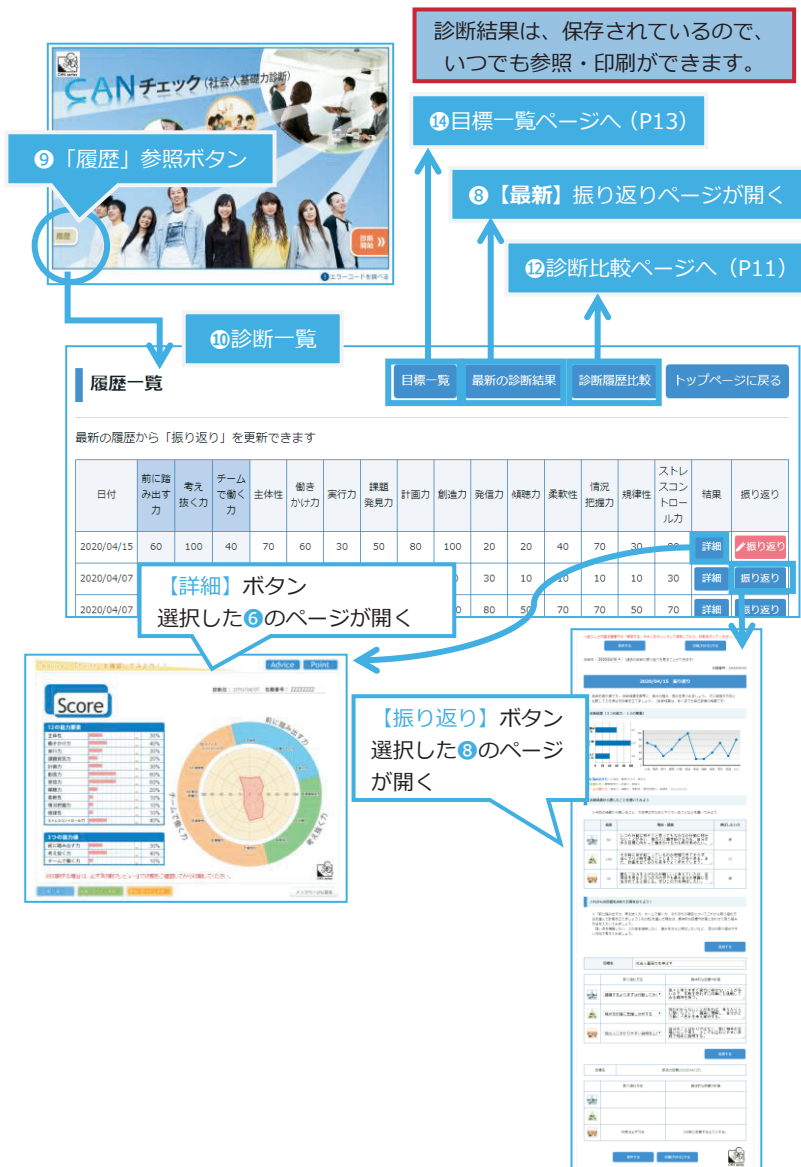
強みをさらに伸ばす、弱みを補強するなど自分がこれから身につけたい力を決めて目標を立ててみよう。

最新診断から **1 年以内** の場合
最新の「振り返りページ」で目標を追加・変更・削除することができます。

目標追加: P12 参照

4-3 履歴編

診断した履歴の参照手順を説明します。



⑫ 診断比較ページ

※印刷する場合は、必ず「印刷プレビュー」で状態をご確認してから印刷してください。

印刷(PDF化)する

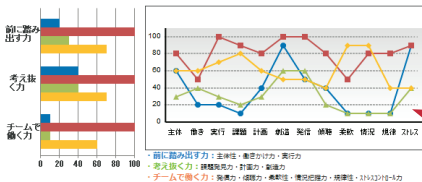
登録番号: ZZZZZZZZ

診断履歴

診断履歴では、今回の診断、前年最終診断（受けた場合）、初回診断と先回診断の結果がグラフで表示されます。また最新と先回の診断の振り返りを参照することができます。

診断結果（3つの能力・12の要素）

● 2018/12/11(直近) ■ 2018/01/16(先回) ▲ 2016/04/07(初回) ◆ 2017/03/29(前年最終)

初回から比較して
どのような力が伸びて
いるのを見てみよう。

診断結果から感じること

※直近の結果と先回との比較、最近伸びること、力を伸ばすためにやっていること

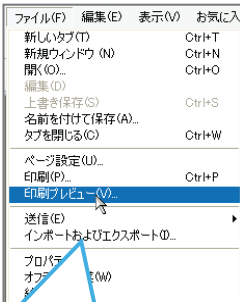
診断日	結果	理由・感想	伸ばしたい力
2018/01/16 (先回)	100	・人に読まれてきた結果だと思う。養っていない。	
2018/12/11 (直近)	80	いつも行動に移そうと思ってもなかなか行動に移せないことが多い。他の人に働きかける力も、自分の中の目標に向かって働きかける力も両方高めたい。	✓
2018/01/16 (先回)	100	・思ったより高かった。理系として、この力を伸ばしていきたい。	
2018/12/11 (直近)	80	その時に何が起きているのか把握できておらず、ぼんやりと時を過ごしてしまうことが多い。また、計画を立てるのも苦手よく折れてしまう。	
2018/01/16 (先回)	100	・今後必要になる力であるため、頑張りたい。	
2018/12/11 (直近)	80	最もこの力を上げるのが難しいと考えていたが、各項目を見ると、3つの力の中で最も自分の意識に左右されると感じる。ぜひこの力を伸ばしたい。	✓

振り返りに決めた目標と計画

※取り組み方法や具体的な日付や内容について考えたこと

診断日	取り組み方法	具体的な目標や計画
2018/01/16 (先回)		
2018/12/11 (直近)	確認するよりまずは行動してみる	色々と考えすぎて実行に移せないことが多いので、失敗を恐れるに何事にも挑戦してみる精神を持つ。
2018/01/16 (先回)		
2018/12/11 (直近)	現状を的確に把握し分析する	何がわからないことがあれば、考えたり人に聞くなどして、確実に理解し、自分ができるようになるまで考える。
2018/01/16 (先回)		
2018/12/11 (直近)	他の人に分かりやすい説明を心がける	自分のことばかりではなく、常に相手の立場になって考え、少しでもわかりやすい手段で相手に説明する。

印刷(PDF化)する



【印刷時の注意】

⑥・⑦・⑧・⑫は、A4 縦、もしくは A4 横で印刷できるように調整されています。印刷する際には、印刷プレビューを確認して印刷を行ってください。

4-4 目標設定

目標設定や設定した目標を参照する手順を説明します。

4-4-1. 目標設定

③ 振り返りページ

※記入した内容を基盤として「保存する」ボタンをクリックして保存してから、印刷を行ってください。

保存する
印刷(PDF化)する

印刷日: 2020/04/15 (過去の印刷の振り返りを見ることが出来ます) 印刷番号: AAAAAAA

2020/04/15 振り返り

印刷結果を確認する。印刷結果を参考に、自分の強み、弱みを考えましょう。次に到達する方向と、実際に力を発揮する計画を立てましょう。(印刷結果は、あくまでも自己診断の結果です)

印刷結果 (3つの能力・12の要素)

能力・要素の平均値 (全要素: 60/100) (全要素: 60/100) (全要素: 60/100)
能力・要素の平均値 (全要素: 60/100) (全要素: 60/100) (全要素: 60/100)
能力・要素の平均値 (全要素: 60/100) (全要素: 60/100) (全要素: 60/100)

印刷結果から得たことを書いてみよう

※今回の結果から得たことを、力を伸ばすためにやるべきことなどを書いてみよう

結果	強み・弱み	伸ばしたい
60	いつも行動に移すことができて、自分から行動を起こすことができる。自分から行動に移すことができて、自分から行動を起こすことができる。	☒
100	その場しのぎで行動することができて、自分から行動を起こすことができる。自分から行動を起こすことができて、自分から行動を起こすことができる。	☐
40	自分から行動に移すことができて、自分から行動を起こすことができる。自分から行動に移すことができて、自分から行動を起こすことができる。	☒

これから目標を決めて計画を立てよう！

※「強み」を基に、考え抜く。チームで働く。それぞれの強みについて、これから目標の方向性を定めて計画を立てよう。(その場しのぎで行動した場合は、最終的な目標や計画と合わせて取り組む必要があることを示す。)

強みを伸ばしたい。このまま継続したい。強みをさらに伸ばしたいなど、自分の取り組みやすい方向で考えてみよう。

追加する

目標名	目標設定方法	具体的な目標や計画
目標1	取り組み方を確認したい	
目標2	取り組み方を確認したい	
目標3	計画は必ず守る	

保存する
削除する

目標名	目標設定方法	具体的な目標や計画
目標4	取り組み方を確認したい	
目標5	計画は必ず守る	

保存する
削除する

これから目標を決めて計画を立てよう！

※「強み」を基に、考え抜く。チームで働く。それぞれの強みについて、これから目標の方向性を定めて計画を立てよう。(その場しのぎで行動した場合は、最終的な目標や計画と合わせて取り組む必要があることを示す。)

強みを伸ばしたい。このまま継続したい。強みをさらに伸ばしたいなど、自分の取り組みやすい方向で考えてみよう。

追加する

目標名	目標設定方法	具体的な目標や計画
目標1	取り組み方を確認したい	
目標2	取り組み方を確認したい	
目標3	計画は必ず守る	

保存する
削除する

目標名	目標設定方法	具体的な目標や計画
目標4	取り組み方を確認したい	
目標5	計画は必ず守る	

保存する
削除する

2つ目の目標を作る時に
【追加】ボタンをクリック
します。

最新診断から1年以内の場合
最新の「振り返りページ」で
目標を追加・変更・削除する
ことができます。

2つ目以降の目標は
【変更する】ボタンをクリック
して編集します。

4-4-2. 目標確認

10履歴（診断）一覧ページ

履歴一覧 **目標一覧** **最新の診断結果** **診断履歴比較** **トップページに戻る**

最新の履歴から「振り返り」を更新できます

日付	前に読み出す力	考え抜く力	チームで働く力	主体性	働きがい力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力	結果	振り返り
2020/04/15																	☒ 振り返り
2020/03/30																	振り返り
2020/03/26																	振り返り

14目標一覧ページ **目標を更新、追加できます** **最新の診断結果**

日付	目標名	振り返り
2020/04/15	社会人基礎力を伸ばす 節活の目標	☒ 振り返り
2020/03/30	積極的に自分の考えを発表する	振り返り
2020/03/26	積極的に自分の考えを発表する 新年度から、がんばる	振り返り

診断テストごとに作成した目標の一覧が表示されます。

【振り返り】ボタンをクリックすると、振り返りページが開きます。

8振り返りページ **印刷(PDF化)する**

3/11 (過去の診断の振り返りを見ることができます)

登録番号: 0000000000

2019/12/11 振り返り

※診断結果を参考に、自分の強み・弱みを知り、より一層自分を伸ばす方向に活動して力を伸ばす計画を立てましょう。9/10の結果より、今までの自己評価の結果です。

診断結果(8つの能力・120の要素)

前に読み出す力 考え抜く力 チームで働く力

8 20 40 60 80 100

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

●前に読み出す力 ●考え抜く力 ●チームで働く力 ●社会人基礎力

●自己評価 ●診断結果 ●診断結果と自己評価の差

●自己評価 ●診断結果 ●診断結果と自己評価の差

※今回の診断の結果を参考に、力を伸ばすためにやってほしいことなど

結果	強み・弱み	伸ばしたい力
20	人に話して自分の結果と意見を伝えてほしい	
40	思ったより活動がなかった。成長して、この力を伸ばして欲しい	
10	今後目標になるためであるため、頑張りたい	

振り返りの順に立てた目標、診断

目標名	達成状況	具体的な目標や計画
社会人基礎力		
社会人基礎力		
社会人基礎力		

印刷(PDF化)する

CAN check

5 CAN チェック（社会人基礎力診断）のQ&A

Q1. 診断結果の見方を教えてください。

診断結果については、次の3点に気をつけて見てみましょう。

- ①あなたが回答したものに基いて結果が導きだされているため、自分に厳しく答えた場合と自分に甘く答えた場合では結果が変わってきます。
- ②人によってレーダーチャートが全体的に大きくなったり、小さくなったりしますが、全体の大きさを見るのではなく、自分自身の強み、弱みを把握したり、前回からの変化を確認してみましょう。
- ③診断結果について、一部の力が低くても、そのことが社会生活にすぐに影響を与えるということではなく、強みで弱みをカバーすることができます。

Q2. 相談したいときは、どうしたらいいですか？

診断結果や振り返りの内容を印刷して、先生やキャリアセンターにもっていきましょう。より具体的に相談がしやすくなります。印刷ページについては、マニュアルの⑧になります。

Q3. 診断は、どのくらいの回数おこなったらいいいですか？

少なくとも1年に1度は実施しましょう。

Q4. 診断によって社会人基礎力は伸びていきますか？

診断だけでは社会人基礎力は伸びません。診断後、自分の今の社会人基礎力や伸ばしたい力を考え、目標設定し、生活の中で目標にそって行動してみましょう。次回の診断を行ったときに、力が伸びているか分析し、目標を設定します。その繰り返しを自ら行っていくことで、社会人基礎力が伸びていきます。

Q5. 診断の注意点はありますか？

社会人基礎力は、強みで弱みをカバーすることができますので、すべて伸ばす必要はありません。大学生活の充実、将来のために自分にとって必要な社会人基礎力を伸ばしていきましょう。

CANシステム

CANシステムとは

学生の就職活動やキャリア形成を、OB・OGの皆様にWeb上のシステムを介してサポートしていただくシステムです。
様々な学生の悩みや不安に対し、社会の先輩としての視点から、OB・OGの皆様にお答えいただけます。

登録
質問・回答

希望なら、
OB訪問を
受け付けます！

就活には
こんな視点も
必要だよ！

CANシステム

Career Assist. Network System

CANシステムを経由するため、
お互いの個人情報を公開せずに
詳細なやりとりが可能です。

Webにはいいこと
ばかり書いてある
けど、実態って
どうなんだろう？

志望企業に
ついて先輩に
直接話を聞いて
みたい！

先輩たちって
どんな働き方を
しているの？

ウチの会社は
こんなところだよ！

OB・OGの皆様

学 生

皆さんとOB・OGをつなぐシステムです！

就職活動に関する情報の多くはWeb上に集中し、効率的でスピーディーになった反面、バーチャルな情報ばかりに目が向き、リアルな情報が収集しにくい状況にあります。その結果、職業観が乏しいままに社会に出たり、情報不足からミスマッチが起こることもあります。このシステムを活用して、お互いのメールアドレス等を公開することなく、登録しているOB・OGとやりとりし、「生の情報」をもらうことができます。

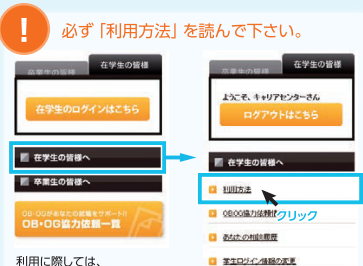
すでに多方面の業種にわたるOB・OGから登録していただき、皆さんからのメッセージを待っています！ 業界・職種・仕事についての具体的な質問をしたり、キャリア形成に関するアドバイスをお願いしたりするなど、活用してみてください。

CANシステム

Career Assist. Network System

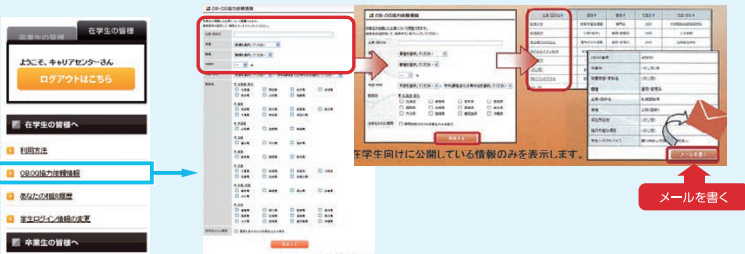
ログインまでの流れ

step 1 新潟大学キャリア・就職支援オフィスHP
<https://www.career-center.niigata-u.ac.jp/>



OBOG協力依頼情報

「OBOG協力依頼情報」から、企業名や職種、勤務地などの検索条件を設定し「検索する」ボタンをクリックすると、該当する情報が一覧で表示され、企業名をクリックすると詳細情報が表示されます。

CANシステムを利用する際の
注意点

- ★このシステムは開いたままにしておくと、一定時間（30分）でログアウトしてしまいます。入力をする際には、他のソフト等で文章を作成しておき、コピー＆ペーストするなどの工夫をしてください。
- ★このシステムを用いてやり取りした内容はシステムに保存されます。（不適当内容が含まれていないかチェックしています）予めご了承のうえ、利用してください。
- ★質問については、返信が約束されたものではありません。
- ★OB・OGとして説明会や採用についてのお知らせを行う場合があります。

先輩に聞いてみよう！就活のいろいろ

企業研究に関すること

Q

〇〇銀行と他の銀行の違いはどこなところでしょうか？

銀行業界を志望しています。〇〇銀行が第一志望なのですが、説明会に行っても銀行同士の違いがわかりません。社風など、貴社の特徴などがあれば教えていただきたいのですが。

A

以下の意見はあくまで自分の感想なので主観が入っています。最終的に決めるのはあなた自身なので様々な知識や情報を仕入れて総合的に判断して下さい。

1. 弊社と他の銀行との違いについて

(1) 人材面

近年、大量採用を進めたことにより、若い人が多くなりました。そのため若手に対する期待度は非常に大きく、早期に戦力となる人材育成のための社内教育にも力を入れてます。特に30代後半以上のベテラン層に非常に優秀な人が多いと感じています。

(2) 業務面

銀行の業務は……………

面接に関すること

Q

〇〇市役所の面接について質問したくメールさせていただきました。

どのような質問をされ、面接時間は何分程度なのか。また、先輩が受けた時の面接の形式や試験がどのようなものであったのかについて教えていただきたいと思います。可能な範囲でかまいませんので、返信いただけると嬉しいです。

A

面接時間は15分から20分程度です。面接官は人事課職員です。受験者1に対して、面接官1～2人です。聞かれる内容は

(1) 学生時代に打ち込んだこと。そのときに大変だったこと。

(2) 希望しない部署に配属されたら？

(3) 上司と意見が相違したら？

進路選択に関すること

Q

現在、国家一般職の〇〇職員と〇〇県庁の〇〇職に内々定をいただいています。しかしそれぞれに魅力を感じており進路を決めかねている状態です。そこで、県庁の仕事について教えていただきたいと思いメールをさせていただきました。また人生の先輩としてアドバイスをいただけたら幸いです。

A

〇〇職が配属される部署及び業務内容は次のようなものです。なお私の経験のある部署以外は参考程度に聞いて下さい。

……………
〇〇職が1名のみという部署もいくつかあります。そこに行くと技術的な仕事が全て回ってきたり、周りに技術的なことを相談できる人がいなかったり、事務処理能力まで求められたりと大変なこともあります。その分、責任ある仕事が多くやりがいを感じられるかもしれません。

これは実際に就活生がOB・OGの方とメール交換したものを参考に編集しました。

CANカード



〈「CAN CARD」・「価値観ワード」について〉

このカードは、自らが主体的に考え、それを伝え、表現する能力（コミュニケーション力、プレゼンテーション力）などのキャリア意識の向上につながるものです。ゲーム感覚でカードを重要なものだけに絞り込んでいくカードソート（カード分類）法を活用し、自分自身の価値観を明確にしていきましょう。

「価値」や「仕事選びの基準」を記したカードを徐々に絞り込んでいき、自分自身の価値観を明確にします。その後、少人数のグループワークで、自分自身の価値観についてお互いに紹介し合い、人との違いの中で自分を深く認識することができます。



【内容】

はじめに
よくある質問
就職活動のサポート
採用選考の流れ
就職活動のマナー・面接のマナー
就職活動の進め方
仕事理解
自己理解
応募書類の作成
面接試験を受ける
参考情報

就活ガイドブック「SAKU」

この就活ガイドブック「SAKU」は、就職活動の進め方や自己理解をはじめとした各種ワークシートなど、就職活動に役立つ情報を掲載した新潟大学オリジナルのガイドブックです。

このガイドブックは、キャリア意識形成支援ツールとして展開している「CANシリーズ」の一つです。CANガイドとともに就職活動に活用しましょう。

名称『SAKU』について

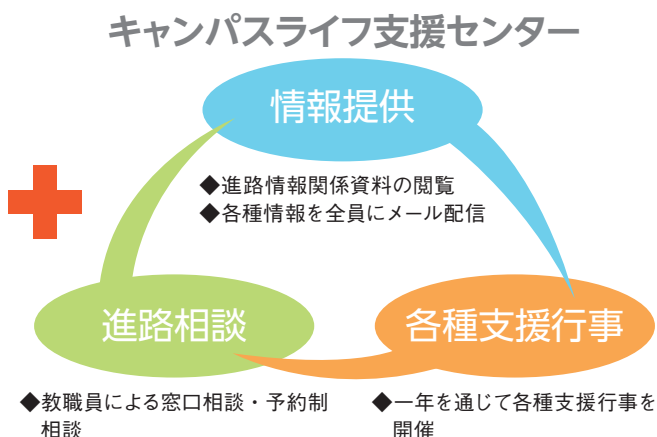
この名称は、学生の皆さんに公募し、決定しました。自分をサクセスする手帳のサク、就活を成功させて花が咲く手帳のサク、サクサク就活が進む手帳のサクの3つの「サク」の意味が込められています。

キャリア・就職支援の体制

2020年度より、「キャリアセンター」が、
「教育プログラム支援センター連携教育支援オフィス」と
「キャンパスライフ支援センターキャリア・就職支援オフィス」に
分かれて、有機的な連携による支援体制となりました。

教育プログラム支援センター

キャリア教育





CAN シリーズ活用マニュアル



新潟大学

新潟大学教育・学生支援機構
教育プログラム支援センター
キャンパスライフ支援センター

発行：2021年4月